

# 省エネルギー

## は 第五の純国産エネルギー

省エネルギーは、五番目のエネルギー源といわれます。石油、石炭、天然ガス、原子力に次ぐ「第五のエネルギー」といいますが、石油の九九・八%を輸入に頼るわが国にとって、省エネルギーは単なる「節約」にとどまらず、国民一人一人が生み出す「第五の純国産エネルギー」な

のです。今、国をあげて七%の石油消費節減に努力していることはみなさんご存じの通りですが、折から暖房用灯油の需要が増える時期です。あなたのご家庭でも七%の節約——「第五のエネルギー」の生産にご協力ください。

### 10の提案

#### 家庭の冬の省エネルギー対策

家庭で使うエネルギーのうち、冬季の暖房用のエネルギーは、約四割を占めるといわれており、それだけに冬の省エネルギー対策は非常に重要です。各家庭におかれては、今年の冬は次のような工夫を行うことにより、省エネルギーにご協力いただくようお願いいたします。

## 生活

### 2月は省エネルギー月間

1

室温は十八度に調節を!

部屋の温度は十八度以上にしない



いことを目安に、こまめな調節を行います。暖房温度を一度下げれば、燃料費は約一割節約できます。

2

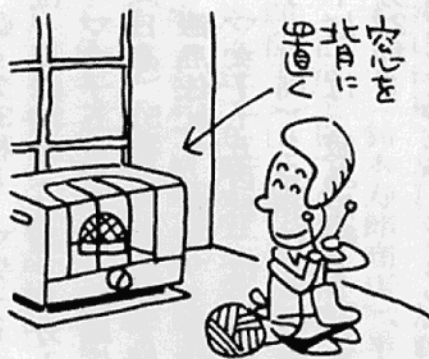
部屋の保温の心掛けを!



カーテンを厚手のものにし、天井から床までたらし、また、できるだけカーペットを敷いたり、窓壁などに目張りをするなどして、換気にも気をつけながら、部屋の保温に心掛けましょう。

3

暖房機器の置き場所に工夫を!



暖房機器は、たとえば窓側などの冷気の入ってくる位置に窓を背

にして置くと、暖気が冷気を押し上げて、空気の対流が十分に行われて効果的な暖房ができるようになります。

4

適切な暖房機器の選択を!

暖房機器を使う場合には、部屋の用途や大きさ、使う人に合わせたいものを選ぶようにしましょう。たとえば、小さな部屋を大部屋用のストーブで暖めれば、温度が上がりすぎて健康にもよくない場合があります。この場合の目安と